

複式学級における学年別指導や同単元同内容指導の授業の在り方

～県外附属小学校やへき地校での複式授業を視察して～

徳永伸一, 田中雄志, 永田孝哉, 徳留健成, 枝迫大明, 宮崎幸樹,
中鉢吉彦, 加治木徹, 古河賢一郎

[鹿児島大学教育学部附属小学校]

キーワード：学年別指導

1 はじめに

近年、児童数の減少により、複式学級を有する小学校は、鹿児島県内にある小学校の約40パーセントと年々増加傾向にある。

鹿児島大学教育学部附属小学校は、複式学級を設置し、教育学部と連携を取りながら、学習指導を効果的に進めるための理論と方法を研究し、その成果を県下の複式学級の教育振興に寄与しようとしている。そこで、三大学連携の一環として、県内外の離島・へき地や県外附属小学校の現状を把握し、今後の研究に生かしていくために、複式学級における学年別指導や同単元同内容の授業を視察した。その成果と課題を報告する。

2 各研修視察報告

(1) 広島大学附属東雲小学校の研修視察について

① 研修視察校の研究

A 研究テーマ

子どもの自立を支えるカリキュラムの開発
～基礎・基本の明確化と指導・評価の一体化～

I 研究内容

本年度は、子どもの自立を支えることを意図したカリキュラム開発を目指している。そのために、整理された基礎・基本の内容の明確化及びパフォーマンス課題及びルーブリック、個別の指導計画表を活用した指導と評価の一体化について研究を行っている。

② 複式授業を参観して

A 単元

- ・ 複式中学年 国語
3年「サーカスのライオン」
4年「風のゆうれい」
- ・ 複式高学年 国語
5年 心を見つめて読もう「カレーライス」

6年 心を見つめて読もう「ふる場の散髪」

I 授業内容

- ・ 複式中学年

3・4年どちらも教材文の最後の場面の登場人物の心情理解を深めていく内容であった。どちらもガイド役の児童が授業を進め、発問や板書まで行っていた。教師は、「積極的に待つ」姿勢を大事にしていた。また、授業終盤では、教師が「わたり」を繰り返し、子どもたちに気付かせようと全体や個別にかかわろうとする姿が見られた。

- ・ 複式高学年

5・6年は、同じ主題を父親の視点で描いている2つの教材文をセットにして、比べて読む単元構成にしていた。本時の授業では、異なる学年が異なる教材を活用しながらも、5・6年共に同じめあてに向かって授業を展開していく、工夫した内容の設定であった。授業では、パネルディスカッションを通して、2つの作品を比べ、自分の思いを深めようとする内容であった。教師は、意見交流を活発にしようとして全体に発問したり、1つの構造的な板書にまとめていったりしながら、目標達成に迫ろうとしていた。

③ 成果と課題

○ 教師が、子どもの主体性を引き出そうと「積極的に待つ」姿勢を大切にしていた。これは研究の具体的な取組である、形成的評価を大切にしたい取組が生かされたものであり、子どもたちが主体的に活動していく姿が見られた。

● 子どもたちが主体的に活動に取り組む姿が見られた一方で、子どもの思考が深まらず、活動が停滞する場面も見られた。中心的な発問や子どもの思考の流れが表れた板書は教師主導で進めていくなど、教師の授業へのかかわり方につ

いて、今後検討していく必要があると考える。

④ 感想

複式授業では、子どもが主体的に活動していくための教師の手立てが重要であることを再確認した。それに関連して、特に今回印象に残ったのは、教師の「積極的に待つ」姿勢である。「積極的に待つ」ということは、2学年の子どもの事前の実態だけではなく、授業が始まってからの理解状況をもしっかりと把握しておく必要があることが大切であると感じた。また、教師が「わたる」ときの見極めを、授業前にしっかりと自分でもっておき、かつ臨機応変に対応していけるようにすることも大切であると感じた。今回の子どもの自立を目指した研究は、今後実践を積み重ねることによって、鹿兒島県の複式教育にも十分に生かすことができると感じた。

(2) 沖縄県の研修視察について

沖縄県石垣市(石垣島)と沖縄県竹富町(西表島)にある4校の複式学級を参観した。4校の全校児童数及び学級編制は以下のとおりである。

○ 石垣市立伊野田小学校

1・2年, 3・4年, 5・6年の複式学級。
全校児童数17名

○ 石垣市立吉原小学校

1・6年, 2・3年の複式学級。
全校児童数8名

○ 竹富町立古見小学校

1・2年, 3・4年, 5・6年の複式学級。
全校児童数11名。

○ 竹富町立西表小中学校

1年単式, 2・3年, 5・6年の複式学級。
全校児童数は17名。

4校とも校門には色とりどりの花が咲き誇っており、吉原小学校は「18年度花と緑あふれる学校コンクール」において最優秀賞を収めている。

① 石垣市立伊野田小学校

ア 研究内容

18・19年度は石垣市教育委員会指定道徳教育推進校となっており、19年度のテーマは「豊かな心をはぐくむ指導の工夫～異年齢集団の活動をとおして～」である。また、伊野田小学校における研究主題は「自ら学ぶ意欲や自ら考える力を

身に付けさせ、豊かな心をはぐくむ授業づくりの研究～異年齢集団の活動をとおして～」である。小規模校の特性を生かした授業づくりを行う姿勢が見られる。

イ 複式授業を参観して

3・4年の社会科の授業を参観した。わたしたちの沖縄県の第1時だった。3年生は特別支援を必要とする子どもで、教室の後方で別の教師による指導を受けていた。

副教材「わたしたちの石垣市」の地図を使って、石垣市を中心にして周りがある島を探し、ワークシートに島の名前を記入するように指示していた。子どもたちは多くの島が点在する事実をとらえていたが、沖縄県に住む人々はそれぞれどんな暮らしをしているのかという疑問を生み出すような資料を示すことができたなら、もっと子どもたちの考えが深まったと思った。

② 石垣市立吉原小学校

ア 研究内容

学力向上の目標として『生きる力』の育成を目指し、児童一人ひとりに『確かな学力』と『豊かな心』を身に付けさせる」を掲げている。確かな学力定着のために、百ます計算や読み聞かせに取り組み、達成度テストや読書目標冊数において目標設定を行っている。目標設定を行って取り組んでいるのは、他の4校ともあった。

イ 複式授業を参観して

2・3・6年で合同体育を実施し、バスケットボールに取り組んでいた。3年生がゲームに取り組みやすくするために、ゴール下に特別ルールが設定されていた。ゴール下の動きに制限があることによって学年差をクリアしようとする意図が感じられた。

途中、作戦タイムがあり、チームごとに作戦を立てていた。6年生はゴール下のルールを生かして、2・3年生にパスを出す位置やパスをもらう位置などを話していたので、教師が具体的に働きかけることによって、学年差を生かした作戦を立てることができた。

③ 竹富町立古見小学校

ア 研究内容

目指す教師像の一つに「常に教材研究と授業改

善をめざし、『わかる授業』を工夫する教師」を掲げており、授業を中心とした学力向上を図っていることが分かる。

イ 複式授業を参観して

5・6年の社会科の授業を参観した。5年生は情報産業を、6年生は公共施設ができるまでの学習に取り組んでいた。教科書や資料集などを生かして調べ学習を行っていた。調べさせる際には、子どもたちの机を黒板に向けさせ、黒板を使って、資料の意図やどのページにあるのかななどを指導をしていた。

教師が、資料のどこに何が書かれているかを一人ひとりにかかわりながらワークブックを埋めさせていた。「〇〇が～に書かれているよ。」だけではなく、個別にかかわる時間の多さを生かして、「この写真は何をしています、どんなことが分かるかな。」などといった働きかけが加わるとさらに子どもたちの考えが深まると思った。

④ 竹富町立西表小中学校

ア 研究内容

19年度の研究主題として「命を見つめ、平和について考える児童生徒の育成～地域環境を活用した教育活動をとおして～」を掲げている。また、18～20年度は沖縄県・竹富町教育委員会指定を受けて平和教育の研究を進めている。19年度においては、道徳の授業をとおして研究を深めてきている。

イ 複式授業を参観して

2・3年の国語の授業を参観した。2年生は漢字の仲間を、3年生は書く領域「たからものをさがしに」の学習に取り組んでいた。

教師がわたりを行い、時間を設定し、子どもが司会をしながら学習を進めていた。教師は子どもたちの学習の進み具合を見ながら、授業を進めていた。

3年生の取り組む様子を見てみると、子どもたちの書く力の高さを感じた。書いている作品を相互に見せ合い、話し合わせるような場があれば、子どもたちはより意欲を高めながら、学習に取り組むことができたのではないかと考えた。一人の女の子の表現のよさを褒めるとうれしそうな表情をしていた。このような表情を授業の中で常に目

指したい。

⑤ 成果と課題

○ 一人ひとりの子どもにかかわる時間を確保することによって、教師が直接指導する時間が増え、子どもたちも集中して学習に取り組むことができていたことが分かった。

● その教材を活用して、何をとらえさせようとし、とらえさせるために、具体的にどんな働きかけをし、どんな学習の場を設定するかをもっと考える必要があることが分かった。

● 子どもが自分や友達の考えのよさに気付きながら学習を進められるようにする必要があることが分かった。

⑥ 感想

今回、石垣島と西表島にある複式学級を参観する機会に恵まれた。この地に行くことが決まってから、雄大な自然に触れることができることに胸が高まっていた。そして、その自然に触れることを通して「教育とは環境である」ということを感じた。

この地の自然は、石垣市や竹富町の子どもたちにとって最大の環境ではないだろうか。ゆったりと流れる時間、目を癒してくれる空間、心温まる出会う方々の人間性、これらの三間(時間・空間・人間)が充実していた研修視察だった。そして、これらは相互に働きかけることによってより多くの効果を生み出すことになる。

これらの根底にあるのは、ハード面を創り出すソフト面における教師の力であり、子どもたちにとって教師が最良の環境である。教材を目標から分析し、どのようにして学ばせるかを忘れずに、今後の自己研鑽に努めていきたいと考える。

(3) 和歌山県の研修について

① 紀ノ川市立桃山小学校

ア 学校の概要

全校児童7名、3・4年、5・6年の複式学級で編成される。平成19年度で閉校し、近隣の小学校へ統合される。

イ 地域及び学校の特色

・ 複式学級解消を目指し、市から配置された常勤講師1名を生かしながら可能な限り学年別指導を行うための教育課程編成を行っている。

- ・ 理科・社会科など A・B 年度方式をとらず、学年別指導を行っている。実験中の安全確保や社会科見学引率には、管理職の先生も指導に入り対応している。

ウ 研究内容

平成 17 年度に近畿地区・和歌山県複式教育研究大会を開催し、子どもが自ら学ぶ意欲を育てるために、算教科における基礎・基本を身に付けるための指導方法について研究を行っている。

エ 成果と課題

- 学年毎に自ら学ぶ子どもの姿を想定し、1 単位時間の学習過程を明確にしたり、子どもたち同士の学び合いを深めるための発表話型や聞き方について学年の系統を考慮しながら設定したりできた。
- 少人数のために子どもたちの考えが平板化してしまうことがあるために、学習内容設定、教師の発問、見方・考え方を広げる教材など、教師の具体的な働きかけについて研究を深める必要がある。

オ 感想

豊かな自然に囲まれながら、子どもと教師が一体となって教育活動に取り組んでいる感じがした。できるだけ複式学級を解消し、学年別指導を行おうとする考え方が斬新であり、もっと情報を収集することによって、鹿児島県の複式学級指導にも生かすことができると感じた。

② 和歌山大学教育学部附属小学校

ア 研究テーマ

「発想力」「論理力」「表現力」を育てる
～言葉にこだわった、対象・他者・自己との対話により～

イ 研究内容

- ・ 叙述に即した豊かな「発想力」「論理力」の発揮のさせ方
- ・ 言葉に問いかけ、文章を読み味わい、読みを深めようとする「主体性」の育成

ウ 複式授業を参観して 1年11組の森庫 2年1スー本の白い馬

1・2年それぞれでガイドが授業を進行し、教師がわたりを繰り返すオーソドックスな指導形態をとっていた。1年生が課題設定を行う際に、教師は直接指導を行い、その間、2年生はワークシートに課題解決のための一人学習を進める「ず

らし」を行っていた。1年生は「つかむ」過程に、2年生は「深める」過程に直接指導の重点を置くなど、発達段階や学習内容によって直接指導の場を変えていく指導をとっていた。また、一人調べのために複数のワークシートを作成し、活用していた。

エ 成果と課題

- 考えや思いを深めるために、一つの言葉にこだわり、その言葉に対する自分の考えや思いを書き言葉と話し言葉で表現させることを繰り返させるとともに、ペア学習を取り入れ、何が問題なのかをはっきりさせ、話し合いの視点を焦点化させる言葉がけを繰り返す事が重要であることが分かった。
- 友達の考えや思いに対して、自分の立場を明らかにしながら補説するなど、考えや思いのバトンパスが行われ、主体的に読みを深めようとする姿がみられた。自分の考えの根拠を叙述に即して説明させることを常に意識付けるとともに、子ども同士で自分の考えや疑問点について自由に話し合う場を設定し、他者意識をもって文章の構成や表現の仕方を工夫させながら交流させる場を積極的にもつことが重要だと分かった。
- 課題の焦点化や板書の構造化によって、到達度の低い子どもたちもより主体的に学び、目標達成に迫ることができると感じた。

3 おわりに

今回の視察を通して、沖縄県や和歌山県における公立学校の複式学級を有する学校は、地域の特色や少人数のよさを十分に生かしながら、学校の実情に応じて効果的に学年別指導や同単元同内容指導を行っていることが分かった。また、広島県や和歌山県の県外附属小学校においても、研究テーマを設定し、複式学級のよさを発揮できるような指導が行われていた。

今後も、他校との情報交換を進め、大学と連携しながら、学年別指導や同単元同内容指導の工夫・改善を行っていき、県下の複式教育の振興に寄与できるようにしていきたい。